

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	S46年～	根拠法令・例規等	備前市産業功労者表彰規定	
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室) 産業振興課	
	中項目	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち		
	小項目	施策	29	勤労者福祉の増進		先 職・氏名 商工振興係長 隅谷淳就
事務事業名		03	産業功労者表彰事業		電話 0869-64-2228	
					このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内商工業各種産業に永年従事する者。	
目的(何のために)	市の産業発展に寄与し、市民の模範となる者について、その功績を表彰し、もって市の産業の一層の発展を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	優良従業員を表彰することにより、勤労意欲の向上を図るとともに、市民の模範となる者を広く公表し、市の産業発展につなげる。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	産業功労者表彰事業		◎
	事業の説明	市の産業を進展させるため、市内商工業等各産業に永年従事し、市の産業発展に寄与し市民の模範となる者について、その功績を表彰する。		

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	171	131	143
	必要人員	人	0.08人	0.02人	0.06人
	費用	千円	690	208	502
	支費計	千円	861	339	645
	国庫支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他( )				
	一般財源		861	339	645
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	人	23	23	23
	対前年比	%	100.0%	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	861,000	339,000	645,000
	単位当たりコスト	円	37,435	14,739	28,043

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
被表彰者数(市長表彰)	成果指標名	目標値(A)	25	25	25	25
		実績値(B)	23	23	23	到達目標値
		達成率(B/A)	92.00%	92.00%	92.00%	25
成果指標設定の考え方・式や説明						
産業功労者表彰(市長表彰)を受けた者						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低	

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○						
説明		直接事業費の削減は限界であり、これ以上の見直しは困難である。							

総合評価		総合評価
産業功労者表彰は、労働者の勤労意欲の向上を促し、産業発展に有効な事業であることから、引き続き実施する。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 高 低

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○						
取組目標		直接事業費のコスト削減は限界にきていることから、これ以上の見直しは困難である。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな